

【今月の目次】

- 1.情報教育領域のセンター研究について
- 2.ICT 活用ワンポイント講座（ショートカットキー【最小化&スリープ】）
- 3.コラム「偽セキュリティ警告が表示されたときの対応」



1. 情報教育領域のセンター研究について

情報教育領域では、毎年 1 つテーマを決めて情報教育推進のために研究を行っています。今年度は、「校務 DX」をテーマに、研究推進校を指定せずに全県を対象として研究を始めていくこととなりました。この ICT 通信でも「校務 DX」について情報発信していきますが、1 回目は、「校務 DX」という用語について一緒に考えてみましょう。

そもそも「DX」って？

簡単に言うと、「DX」って先生方の業務負担を軽減するための手段なのです。「DX」はデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）の略ですが、ただ単純に「旧来のアナログな作業をデジタル化して便利にする」IT 化と違い、ビジネスモデルや業務プロセスを根本的に変革し、新たな価値を創造することを目的としています。また頭文字で「DT」とするのではなく「DX」を使うのは、英語圏では接頭辞の「Trans」を「X」と書く慣習があるためです。「Trans」には「～を横断する」という意味があり、同義語の「Cross」を略す際に使われる「X」が略称として用いられるようになりました。校務もただデジタル化するだけではなく、先生方の業務効率化や児童生徒の資質・能力の向上、授業の質の向上のための変革をしていきたいですね。

また、参考になる資料として 3 月に GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの確定値が文部科学省から公開されました。この調査は、令和 6 年度に全国の自治体を対象に、文科省が作成した学校 DX に関する自己点検の結果になります。広報動画もアップされておりますので、学校の校務 DX の推進に向けて、一度チェックされてみてはいかがでしょうか？

参考資料：文部科学省 GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_02597.html?__CAMVID=fdQDCKiEiFE&_c_d=1&uns_flg=1&__urlmid=10951763&__CAMSID=DIQdckieiFE-72&__CAMCID=hgzulsiKBZ-018&adtype=mail



2. ICT 活用ワンポイント講座（ショートカットキー【最小化&スリープ】）

・いろいろなアプリケーションを立ち上げ作業した後、デスクトップに戻りたくて右上の最小化ボタンをポチポチすることはありませんか？Windows キー(四角形 4 つのマーク)+Dで、すべての開いているアプリ画面が最小化され、すぐにデスクトップに進みます。

・作業したあとにすぐ授業で、席を立つことはありませんか？画面上に機微情報が出しっぱなし、ということはないでしょうか。Windows キー+Lで、すぐにスリープ状態に入ります。※スリープ状態は、強制シャットダウンではないので、上書き保存していなくても、次回ログインすればすぐに作業が続けられます。



3. コラム「偽セキュリティ警告が表示されたときの対応」

Web サイトを閲覧していると突然警告画面や警告音が出て、パソコン画面に、「ウイルスに感染しているので電話するように」との警告画面が表示されたりします（この段階ではウイルス感染していません）。警告画面上の連絡先に電話をすると、不安をあおられ有償サポート等の契約を迫られたり、遠隔操作のアプリケーションを操作され端末を乗っ取られるといった被害が続出しています。誤って電話をかけてしまわないように注意しましょう（もちろんリンクがあった場合もクリックしないように）。

特に、警告画面が全画面表示になって画面を消すことができなくなってしまうような場合は、パニックにならずに落ち着いてブラウザを閉じましょう。

全画面表示の解除方法：ESC キーを 2～3 秒長押し→全画面表示が解除→閉じる

参考資料：独立行政法人情報処理推進機構

「偽セキュリティ警告（サポート詐欺）画面の閉じ方体験サイト」

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/measures/fakealert.html>

「パソコンに偽のウイルス感染警告を表示させるサポート詐欺に注意」

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/attention/2024/mgdayori20241119.html>



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「クラウド」

インターネットを通じてコンピュータリソース（サーバー、ストレージ、ネットワーク、ソフトウェアなど）を提供するサービスのことです。これにより、ユーザーは物理的なハードウェアを所有せずに、必要なリソースをオンデマンドで利用できます。例えば、Google ドライブなどのクラウドストレージサービス、Zoom などの Web 会議ツールが身近なクラウドサービスの例です。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問な

ど随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508（直） /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492